

富山県俳句連盟 三十年の歩み

(主な動きを中心に、敬称略)

昭和50年

- 2月22日、北日本新聞社文化部企画による「富山県俳壇の現況と展望」の座談会
・これを機に、県俳句連盟創立の気運が盛り上がる。
・打ち合わせが重ねられ、準備委員会、次いで発起人会が発足。

[発起人(五十音順)]

安養 白翠、石黒 ト風、岩木 安清、上野たかし、岡本 董甫、桶 錢塘、
木勢 青嵐、蔵 巨水、黒田 逸字、黒田 晩穂、酒井 蒼魚、佐々木汀石、
滋野 純一、正田涼園子、宗万 正夫、高辻 紅雨、高橋良太郎、田中 秋人、
寺山 布岳、中島 杏子、中村 炬子、鍋谷 慎人、南日 芦洲、新村 写空
橋爪 巨籟、氷室 樹、福永 鳴風、船平 晩紅、古川 杏水、町野 斤刀、
室生 砺川、谷内 茂、吉沢 卯一

- 7月、発起人会(事務局：北日本新聞社文化部)が、会員の募集を開始。

- 10月26日

創立総会及び俳句大会を開催

- ・富山地鉄ビル5階大ホールにて、会員577名、当日は300名が出席。

司会：黒田 晩穂 議長：福永 鳴風

経過報告：吉沢 卯一(準備委員代表)

初代会長に 吉沢 卯一(馬酔木同人)

顧問に 深山 栄(北日本新聞社常務取締役、当時)

理事 23名 幹事 8名 監事 2名 事務局：北日本新聞社文化部内

講師 金尾梅の門 「季節」主宰 演題「風土と俳句」



富山地鉄ビルでの創立総会

- 12月1日
「会報」創刊号の発行
- 「会員名簿」第1号の発行
12月現在 601名
・以降、隔年にて発行する。

昭和51年

- 5月9日
第1回 吟行会 富山市呉羽山麓・長慶寺 参加者 186名



呉羽山麓にての第1回吟行会

- 10月24日
総会及び俳句大会 於：高岡市農協会館
講師 清崎 敏郎 「ホトトギス」「若葉」同人（当時）
演題「写生ということ」
- 「合同句集」第一集を刊行
・10月24日の総会大会開催時に刊行 一人12句、481名出句
・以降、毎年、合同句集を刊行する。
- 会報を年2回発行する。
・6月、12月
・以降、年2回の発行が定着。

昭和52年

- 昭和52年度より総会を春季に開催する。
5月15日 総会及び俳句大会 於：富山県民会館
講師 沢木 欣一 「風」主宰 演題「俳句の新しさと古さ」
創立から平成17年までの総会講師、演題等は後記 ※1のとおり
- 吟行会を10月23日に開催。
高岡古城公園・超願寺 参加者 143名
・以降、55年まで10月に吟行会を開催する。

昭和54年

- 規約改正により 副会長を設ける。
副会長に 黒田 晩穂、 福永 鳴風 就任。

昭和56年

- 11月8日に臨時総会及び第1回の秋季俳句大会を開催
(5月に定時総会を開催)
於：高岡市文化センター
講師 岩木 安清 幹事・「季節」同人 演題「言葉のはたらき」
・以降、秋季にも俳句大会を開催する。
平成17年までの秋季大会の講師、演題等は後記 ※2のとおり
- 吟行会を7月に開催。
魚津市天神山にて参加者51名
・以降、吟行会を夏季に開催する。
各年の吟行会は ※3のとおり

昭和57年

- 富山県芸術文化協会へ加入
・秋季俳句大会は、以降、県芸術祭参加行事となる。

昭和60年

- 第二代会長に 黒田 晩穂（「季節」同人）就任。
（新任） 名誉会長 吉沢 卯一、 副会長 上野たかし
- 創立10周年記念式典・俳句大会
10月13日、秋季大会にて。 於：県民会館
講師 岡本 眸「朝」主宰 演題「自己を詠う」
・小冊子「十年のあゆみ」を発行

平成元年

- 奥の細道三百年記念「早稲の香」俳句大会に協賛
8月27日 新湊市中央文化会館 200名
講師 森 澄雄 「杉」主宰 演題「松尾芭蕉と奥の細道」
選者に森 澄雄、斎藤 美規「麓」主宰、吉沢 卯一名誉会長、黒田 晩穂会長、福永 鳴風副会長、上野たかし副会長
- 奥の細道三百年記念あさひ俳句大会に協賛
11月23日 朝日町役場 250名
講師 伊藤 柏翠 「花鳥」主宰 演題「芭蕉の身辺」
選者に伊藤 柏翠、黒田 晩穂会長、福永 鳴風副会長、上野たかし副会長ほか

平成2年

- 創立15周年記念俳句大会
10月21日、秋季大会にて。 於：県民会館
講師 辺見じゅん（作家・「河」同人） 演題「角川源義の世界」
・小冊子「五年のあゆみ」を発行
・記念レセプション 於：県民会館キャッスル

平成3年

- 9月 黒田 晩穂 会長、富山県芸術文化協会より功労者表彰
- 第3回NHK列島縦断・市民参加俳句大会に協賛
11月3日 五箇山、菅沼合掌集落特設会場（終日、衛星第2放送で放映）
選者に津田 清子「圭」代表、黒田 晩穂会長、福永 鳴風副会長

平成4年

- 規約改正により 事務局長を設ける。
 - ・上野たかし副会長の辞任にともない、副会長兼事務局長に 鈴木 溪子 就任

平成5年

- 第三代会長に 福永 鳴風 (「辛夷」主宰) 就任。
〔新任〕 顧問 吉沢 卯一、 名誉会長 黒田 晩穂、
副会長 長沼 紫紅 (「喜見城」主宰)
- 黒田 晩穂 名誉会長、春の叙勲にて勲五等瑞宝章受賞。
- 滑川市制40周年記念「ほたるいか」俳句大会に協賛
7月25日 滑川市民会館分館
講師 上田五千石 「蛙」主宰 演題「生きることをうたう」
選者に福永 鳴風会長、黒田 晩穂名誉会長ほか

平成6年

- 福永 鳴風 会長、北日本新聞文化功労賞受賞。 11月
- 福永 鳴風 会長、春の叙勲にて勲四等瑞宝章受賞。

平成7年

- 5月21日、総会俳句大会を北日本新聞社ホールにて開催。
 - ・以降、総会及び秋季大会の会場を北日本新聞社ホールとする。
- 夏季吟行会として「プレ国民文化祭とやま95俳句大会」を開催
7月2日 於：婦中町社会教育センター
- 創立20周年記念俳句大会
10月10日、 於：北日本新聞社
講師 田邊香代子 「季節」主宰 演題「俳句今思うこと」
 - ・小冊子「五年のあゆみ」を発行
 - ・記念祝賀会 於：北日本新聞社10階レストラン
- 福永 鳴風 会長、「富山県芸術文化功労賞」受賞。

平成8年

- 第11回 国民文化祭とやま'96 俳句大会 の運営に連盟を挙げて協力。
9月29日 於：婦中町民体育館
 - ・ 出句数1万2千、出席者は千名を超える。
 - ・ 松崎鉄之介 俳人協会会長、金子 兜太 現代俳句協会会長、稲畑 汀子 日本伝統俳句協会会長の各講演
 - ・ 選者には松崎鉄之介、金子 兜太、稲畑 汀子、伊藤 柏翠、桂 信子、岡本 眸を始めとして21名。内、当連盟より 福永 鳴風、黒田 晩穂、中野 峰光子、鍋谷ひさの、松住 清文



出席者も千名を超え、歴史のある国民文化祭の中でも特筆すべき盛況ぶりとして評価された

平成9年

- 事務局長に 中坪 達哉 就任。鈴木 溪子 副会長の事務局長兼務を解く。

平成13年

- 〔新任〕副会長に 中坪 達哉、事務局長に 但田 長穂 就任。6月2日、総会にて。
鈴木 溪子 副会長を退任。
- 俳人協会創立40周年記念・北陸大会 に協賛
9月23日 富山県民会館 出席300名
講師 岡本 眸 「朝」主宰 演題「俳句雑感」

選者に岡本 眸、成田 千空「萬緑」代表、今瀬 剛一「対岸」主宰、棚山
波朗「春耕」副主宰、福永 鳴風会長を始め北陸3県より14名

平成15年

- 第四代会長に 長沼 紫紅（「喜見城」主宰）就任。
〔新任〕 名誉会長 福永 鳴風、 副会長 神保 弥生

平成17年

- 創立30周年記念式典 総会・俳句大会
6月4日、 於：北日本新聞社
講師 宇多喜代子 現代俳句協会副会長 演題「いま大事に思うこと」
・記念祝賀会 於：北日本新聞社10階レストラン
・「宇多喜代子／昭和」五・七・五ポスターデザイン展 於：同社1階ギャラリー

※1 総会大会講師と演題等

昭和50年	金尾梅の門「季節」主宰	「風土と俳句」	富山地鉄ビル
51年	清崎 敏郎「若葉」同人（当時）	「写生ということ」	高岡市農協会館
52年	沢木 欣一「風」主宰	「俳句の新しさと古さ」	富山県民会館
53年	中西 舗土「雪垣」主宰	「普羅俳句の旅愁と風土性」	同
54年	古沢 太穂「道標」主宰	「俳句雑感」	富山地鉄ビル
55年	大島 民郎「馬酔木会」副会長	「俳句雑感」	富山県民会館
56年	山田みづえ「木語」主宰	「富山と父と俳句」	同
57年	斉藤 美規「麓」主宰	「俳句と風土」	同
58年	井口 荘子「季節」主宰	「高齢化社会と俳句」	富山地鉄ビル
59年	進藤 一考「人」主宰	「俳句雑感」	同
60年	新田 祐久「風」同人	「現代俳句の流れ」	同
61年	高島 筍雄「風」同人	「生涯の師」	同
62年	宮坂 静生「岳」代表	「俳句における縄文的原始感覚」	富山県民会館
63年	中山 純子「風」同人	「俳句のこころ」	同
平成元年	三村 純也「ホトトギス」同人	「季節と文学」	富山地鉄ビル
2年	南 典二「雪垣」同人	「俳句と私」	富山県民会館
3年	本多 静江「雪解」同人	「正岡子規の人柄と業績」	同
4年	吉田 鴻司「河」同人	「角川源義の俳句観」	同
5年	牧石 剛明「顔」代表同人	「今日の俳句」	同
6年	泉 紫像「萬緑」同人	「写生再考」	同

7年	吉田透思朗「海程」同人	「私の俳句革新」	北日本新聞社
8年	土肥 幸弘「玄鳥」主宰	「歳時記ばなれについて」	同
9年	岩下四十雀「季節」編集長	「川端茅舎論」	同
10年	有馬 朗人「天為」主宰	「自然と文学」	同
11年	稲畑廣太郎「ホトトギス」編集長	「大いなる世紀」	同
12年	宇都木水晶花 俳人協会評議員	「発想と表現」	同
13年	遠藤寛太郎「人」主宰	「二十一世紀の俳句」	同
14年	鈴木 貞雄「若葉」主宰	「芭蕉の手直し」	同
15年	坊城 中子「花鳥」主宰	「祖父虚子の思い出」	同
16年	金子 兜太「海程」主宰	「自然と俳句」	同
17年	宇多喜代子 現代俳句協会副会長	「いま大事に思うこと」	同

※2 秋季大会の講師、演題等

昭和56年	岩木 安清 幹事・「季節」同人	「言葉のはたらき」	高岡市文化センター
57年	福永 鳴風 副会長「辛夷」主宰	「私の俳句遍歴」	高岡市本丸会館
58年	上野たかし 幹事・「秋」同人	「日記から」	同
59年	吉沢 卯一 会長・「馬酔木」同人	「秋桜子と富山県」	同
60年	創立10周年記念大会		
	岡本 眸「朝」主宰	「自己を詠う」	富山県民会館
61年	蔵 巨水 理事・「くらげ」主宰	「越中の俳壇」	高岡市本丸会館
62年	志田 素諷 文学博士	「芭蕉発句の現代への示唆」	同
63年	岩倉 政治 作家	「一処一情」	同
平成元年	木下 秀夫 元県立図書館長	「万葉の芭蕉」	同
2年	創立15周年記念大会		
	辺見じゅん 作家・「河」同人	「角川源義の世界」	富山県民会館
3年	兼久 文治 文芸評論家	「日本人の生き方と余情」	高岡市本丸会館
4年	密田 靖夫 文芸評論家	「蕉風復興の挫折」	同
5年	藤縄 慶昭 文芸評論家	「富山の俳句」	小杉町文化ホール
6年	戸田 禾年「くらげ」同人会長	「俳句とは何か」	同
7年	創立20周年記念大会		
	田邊香代子「季節」主宰	「俳句今思うこと」	北日本新聞ホール
8年	江沼 半夏「紫苑短歌会々員」	「富山の近代俳人たち」	同
9年	米田 憲三 県歌人連盟理事	「定型という名の器」	同
10年	吉田 銀葉「群青」主宰	「群馬に於ける普羅先生」	同
11年	中野吟懐子 幹事・「泉」代表	「俳句と表記」	同

12年	菘島 良二	方言研究家	「句のことば」	同
13年	宮崎 重美	書家	「文化と風土」	同
14年	新畑ひろし	県川柳協会会長	「編みかけの毛糸毬」	同
15年	八木 光昭	聖徳大学教授		
			「散文に於ける花鳥諷詠からの脱却」	同
16年	篠島 満	高岡市芸文協会会長	「遍歴随想を通じて語ること」	同

※3 各年の吟行会

昭和51. 5. 9	富山市呉羽山・長慶寺	参加	186名
52.10.23	高岡古城公園・超願寺		143名
53.10.15	富山城址公園・県民会館		125名
54.10.14	高岡古城公園・常念寺		141名
55.10.26	高岡市太田・ホテル雨晴		80名
56. 7. 19	魚津市天神山城跡		51名
59. 6. 17	魚津水族館、ミラージュランド・同ハウス		70名
60. 7. 28	砺波チューリップ公園 市文化会館		90名
61. 6. 29	富山市浜黒崎海浜・地区センター		60名
62. 6. 28	小杉町薬勝寺池・太閤山中部公民館		100名
63. 6. 26	富山城址公園・県民会館		100名
平成元. 8. 27	「奥の細道三百年記念早稲の香俳句大会」の夏季開催に協賛、 於：新湊市中央文化会館 講師 森 澄雄氏		200名
2. 6. 24	富山市水橋白岩河畔・水橋商工文化会館		90名
3. 7. 7	氷見市朝日山公園・市教育文化センター		110名
4. 7. 5	魚津漁港・大町公民館		110名
5. 7. 18	高岡古城公園・市本丸会館		70名
6. 7. 3	大沢野町春日温泉・別館ニュー越中		70名
7. 7. 2	「プレ国民文化祭とやま 95俳句大会」夏季吟行会 於：婦中町社会教育センター		220名
8. 8. 18	小杉町薬勝寺池ほか・同町社会福祉会館		
9. 7. 20	高岡市伏木・同町福祉会館		
10. 7. 26	魚津漁港・大町公民館 講演 澤崎 寛 蜃気楼研究家		100名
11. 7. 25	高岡古城公園・市本丸会館 講演 太田 久夫 高岡市中央図書館長		85名
12. 7. 23	富山新港海王丸パーク・新湊中央文化会館 講演 倉谷神保子 新湊俳話会会長		80名

- | | | |
|-----------|-----------------------------|------|
| 13. 7 .20 | 砺波チューリップ公園・市文化会館 | 120名 |
| | 講演 水野 嘉孝 | |
| 14. 7 .20 | 富山市岩瀬浜・岩瀬カナル会館 | 90名 |
| | 講演 米田 芳彦 森家館長 | |
| 15. 7 .21 | 魚津市学びの森天神山交流館 | 120名 |
| | 講演 大谷 清雅 小川寺光学坊住職 「色即是空」 | |
| 16. 7 .19 | 氷見市いきいき元気館 | 100名 |
| | 講演 小谷 超 氷見市教育委員会主任 「氷見の文化財」 | |

資料協力： 福永 鳴風 長沼 紫紅 高村 寿山 神保 弥生
 但田 長穂 川上 弥生 黒田晩穂氏資料 中坪 達哉